

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回 豊中市産業振興審議会		
開 催 日 時	令和7年（2025年）7月14日（月） 10時00分～11時30分		
開 催 場 所	Zoomを利用したオンライン開催	公 開 の 可 否	可・不可・ <u>一部不可</u>
事 務 局	都市活力部 産業振興課	傍 聴 者 数	0人
公開しなかつた理由	会議の冒頭に、案件2「中小企業振興部会の報告について」は、報告内容が豊中市情報公開条例第7条第3号の規定に該当するため、非公開とすることが、会長出席委員全員の総意として決定されたため。		
出席者	委 員	和田委員(会長)、東委員、小西委員、馬場委員、吉田委員	
	事 務 局	高島都市活力部長 産業振興課 水谷次長兼課長、荒木主幹、垣内副主幹、若林係長、牟田主査	
議 題	(1) 新・産業振興ビジョンの中間見直しについて (2) 中小企業振興部会の報告について (3) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

令和7年度第1回豊中市産業振興審議会会議録

日時：令和7年7月14日（月）10時～11時30分

開催方式：通信アプリZoomを利用したオンライン開催方式

出席者：和田委員(会長)、東委員(部会長)、馬場委員、小西委員、吉田委員

1. 開会

- ・審議会の成立確認（委員の過半数の出席）：委員8名中5名にご参加いただいているため、本審議会は成立すること
- ・「案件2. 中小企業振興部会の報告」について報告内容が補助金の審査に関するものであり、個々の事業の評価について報告することから、非公開とする。
- ・資料の確認
 - 【資料1】 新・産業振興ビジョン見直しの目的
 - 【資料2】 新・産業振興ビジョン目標指標 進捗状況
 - 【資料3】 豊中市産業に関する事業者アンケート調査票
 - 【資料4】 豊中市産業振興審議会 中小企業振興部会の報告

2. 案件

（1）新・産業振興ビジョンの中間見直しについて

- ・豊中市新・産業振興ビジョンの中間見直しに係る基本的な考え方の諮問を市長から審議会に行う。
- ・部長が諮問書を読み上げた。

（事務局）

- ・資料1，資料2の説明

（会長）

- ・アンケートについて、しっかりした内容だが、回答形式は回収率を高めるために書面やオンラインの工夫はしているか。また、何件に送付しているか教えてほしい。

（事務局）

- ・10日に1,500社に送付している。昨年度WEBのみで実施したところ回収率が低かったため、今回は書面とオンラインの併用で実施している。

（会長）

- ・少しでも回収率が上がればよいと考える。

（委員）

- ・今回見直しとなるが、計画年度は令和9年度まで変更なしなのか。そうすると2年のみとなるが、どういう見直しのイメージであるか。

(事務局)

- ・ビジョンに記載した内容や指標などの時点修正をメインで考えている。終期は令和9年度から変更なし。
- ・大きくめざす姿は変わらないと考えている。令和8年度以降に取り組んでいく具体的な内容や指標の見直しなどを図っていく。

(会長)

- ・骨子は変わらないけども環境の変化に合わせて変える必要がある部分、時代にそぐわない内容などを見直すものと理解している。

(委員)

- ・コロナの時期は商店街が寂しかった。だいぶ店の入れ替えもあったりして、工業地帯も新しい会社が見られるようになった。市としてその支援をするというのは良いことだと思っている。地域が活発になればと思っている。服部天神駅の再開発もあり、地域は活性化してきていると感じている。

(委員)

- ・コロナで環境変化は激しいと思うが、今は関税問題もあり環境の変化は大きい。池田市のダイハツもあり自動車関連事業者として下請け工場もあるのではないかと思う。トヨタは海外でもあまり値上げをしておらず、下請けにしわ寄せがいくのではと懸念しており、影響というのは出てくるかと思っている。

(委員)

- ・大阪は万博の影響もあり、日本全国の中でも元気な地域だと思っている。創業や事業承継など、豊中市は大阪をリードするポテンシャルがあると思う。

(会長)

- ・事業継続という部分でBCPの数字が全国平均を下回っているということは課題かと思う。創業は良いけれども、BCP、事業承継にも力を入れていくのは必要と考える。

(委員)

- ・関税など目下の課題はある中で、創業の相談は増えてきている。アンケートにも施策について項目があり、これまでも様々な施策を実施していると思うが、施策の認知状況、周知状況はどうか。

(事務局)

- ・事業者訪問などの場面で周知はしながら、どんな施策があるといいか聞き取りしたりはしている。ただ、業種業態や規模で必要な支援は異なり、それだけで決めるというのは難しいとは感じている。様々

な場面でヒアリング調査は行いながら検討を進めている。施策を展開しても知られなければ意味がない。ホームページで情報をあげたりしているが、自発的に情報を取りに来る人しか見ない。やはり事業者訪問などこちらから発信していくことが必要と考えているが、マンパワーの関係でやりきれない部分もあるのは事実。

(委員)

- ・アンケートで、認知度やどういう経路で知ったかということを聞いていくのは必要な方策だと思う。

(事務局)

- ・次のアンケートなどで反映できるように検討したい。

(委員)

- ・会議所と連携して行っているPRはなにかあるか。

(事務局)

- ・会議所とは良好な関係性で取り組ませていただいている。会議所媒体での発信をお願いしており、市も会議所の事業を紹介させていただいている。事業そのものとしても連携して取り組んでいる事業もあり、引き続き連携させていただけたらと思っている。

(会長)

- ・BCPについても会議所と連携した取り組みをするなどあってもいいのではないかなと思う。知ってもらう機会が増えるとよい。
- ・本日出た意見も踏まえながら素案の作成に取り組んでいただき、市は「豊中市 新・産業振興ビジョン（中間見直し）」の素案ができ次第、審議会へ報告すること。

(2) 豊中市産業振興審議会 中小企業振興部会の報告について

- ・部会長からの報告【以下、非公開】
- ・部会原案を市の答申とすることを決定する。

(3) その他

(事務局)

- ・次回は令和7年11月上旬の実施を予定している。新・産業振興ビジョンの中間見直しに関する、素案の報告を主な案件として予定。

(会長)

- ・本日予定していた案件は以上で全て終了した。これで令和7年度第1回豊中市産業振興審議会を閉会する。